

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日部計画新築工事	階数	地上13F、地下0F
建設地	埼玉県春日部市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火指定なし法22条地域	平均居住人員	44人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2025年10月 0.0	評価の実施日	2024年1月9日
敷地面積	883㎡	作成者	株式会社HRAデザイン 前田光紀
建築面積	332㎡	確認日	2024年1月15日
延床面積	3,725㎡	確認者	株式会社HRAデザイン 前田光紀

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	100%
③上記②以外の	100%
④上記+	100%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.6

<h4>Q1 室内環境</h4> <p>Q1のスコア = 3.0</p> <p>音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.1, 空気質環境: 3.0</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>Q2のスコア = 2.7</p> <p>機能性: 2.5, 耐用性: 2.8, 対応性: 3.0</p>	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>Q3のスコア = 2.1</p> <p>生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LR1のスコア = 3.4</p> <p>建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 3.8, 効率的: 3.0</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>LR2のスコア = 2.8</p> <p>水資源: 3.0, 非再生材の: 2.2, 汚染物質: 3.0</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>LR3のスコア = 2.9</p> <p>地球温暖化: 3.0, 地球環境: 2.5, 周辺環境: 3.2</p>

3 設計上の配慮事項

総合	その他
春日部市における共同住宅として再利用可能性向上へ努め、周辺環境へ配慮した計画としている。	特になし。
Q1 室内環境 昼光率において居室2.00%以上確保している。	Q2 サービス性能 特になし。
Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。	
LR1 エネルギー [BEI][BEIm]=0.92	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能性向上への取組みにおいて、躯体と仕上げ材が容易に分別可能な仕様としている。
	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)春日部計画新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄				全体	
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境			0.40				3.0
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20		
1.3 吸音			-		-		
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性			-		-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境		2.6	0.25	3.3	1.00		3.1
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.30		
1 昼光率	居室2.00%以上	1.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口			-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能			-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			-		-		
1 CO ₂ の監視			-		-		
2 喫煙の制御			-		-		
Q2 サービス性能			0.30				2.7
1 機能性		2.2	0.40	2.6	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性			-		-		
2 高度情報通信設備対応			-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			-		-		
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		2.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30		-		2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.2	0.20		-		
1 空調・換気設備		1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり		-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			0.30			2.4
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.0
LR1 エネルギー			0.40			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BE][BEIm] = 0.92	3.8	0.50		3.8
4 効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			-		-	
4.1	モニタリング		-		-	
4.2	運用管理体制		-		-	
集合住宅の評価		3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			0.30			2.8
1 水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60		-	2.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20		-	
		躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている				
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1	消火剤	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50		-	
3	冷媒	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			0.30			2.9
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音	3.0	0.33		-	
2	振動	3.0	0.33		-	
3	悪臭	3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制	3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-		-	
3	日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない。				
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	5.0	0.70		-	
		3.0	0.30		-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)春日部計画新築工事	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	---------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.0	+	1.6	=	4.6	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄